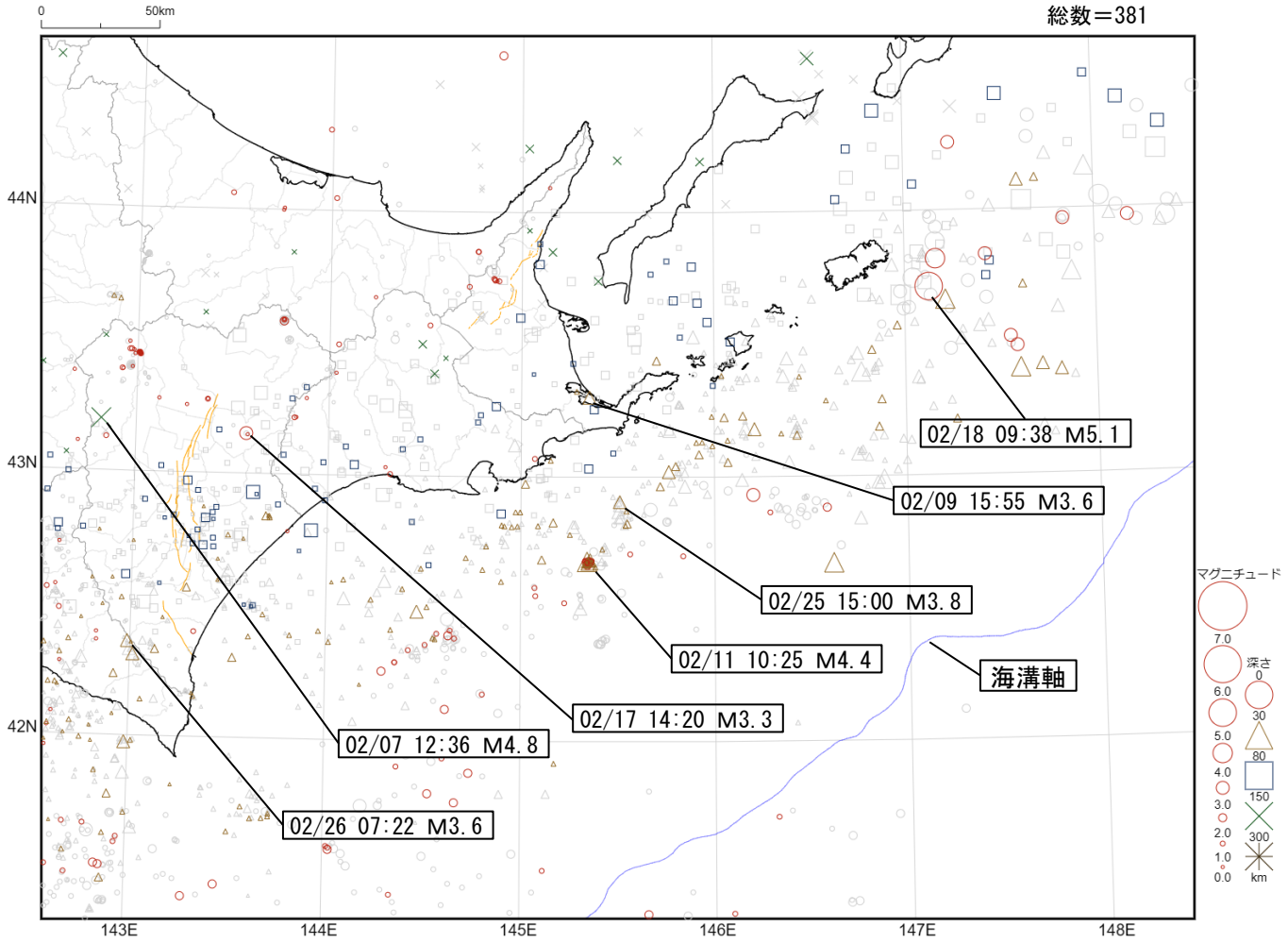
釧路・根室・十勝地方の地震活動図

2025年2月

釧路地方気象台

震央分布図



地震概況（2025年2月）

この期間、釧路・根室・十勝地方の震度観測点で震度１以上を観測した地震は９回(先月１月は３回)で主な地震は次のとおりです（詳細は「釧路・根室・十勝地方で震度１以上を観測した地震の表」を参照）。

11日10時25分、釧路沖を震源とする地震(M4.4、深さ31km）により、根室市、標津町で震度２を観測したほか、厚岸町、浜中町、標茶町、別海町で震度１を観測しました。

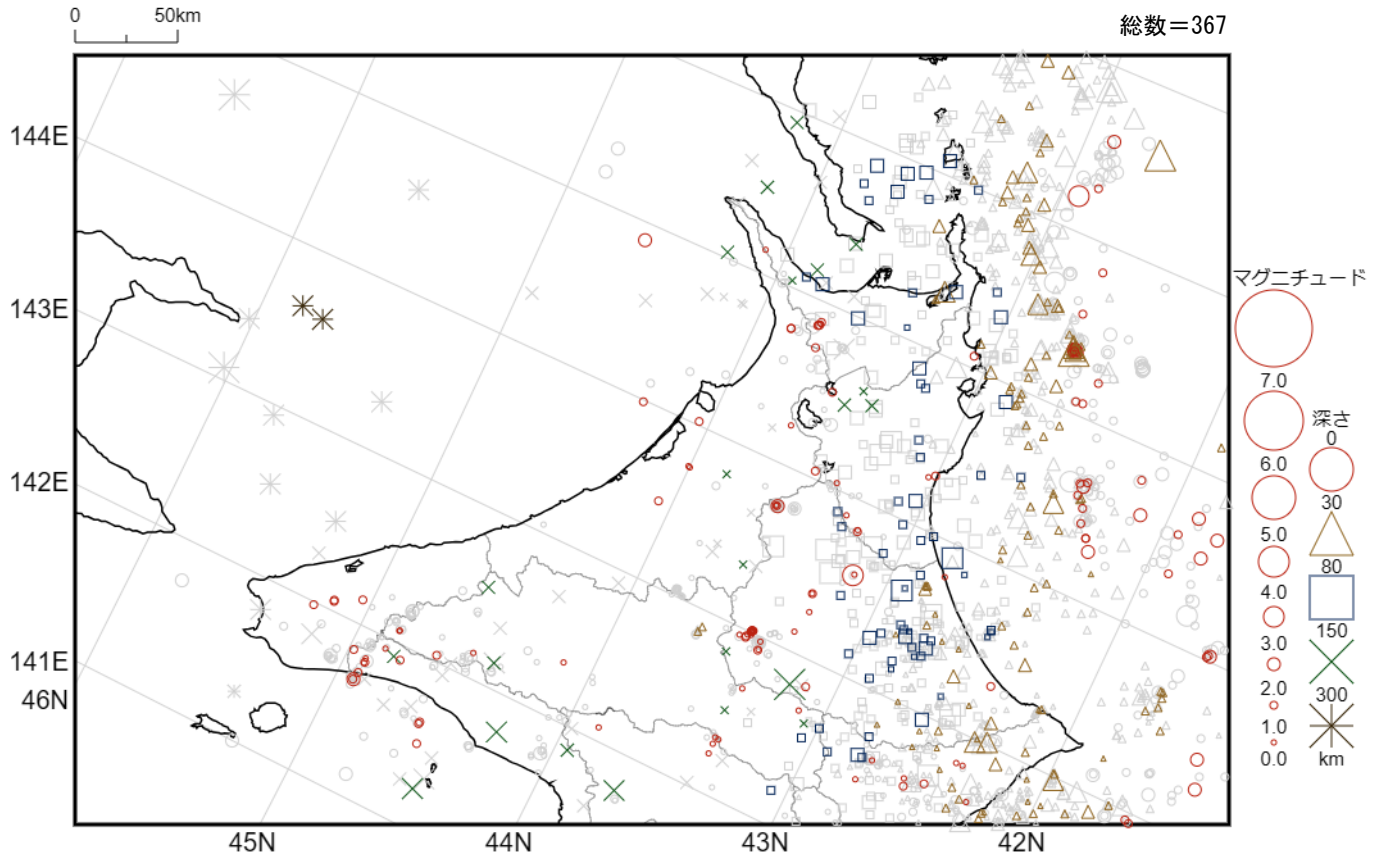
25日15時00分、釧路沖を震源とする地震(M3.8、深さ38km）により、根室市で震度２を観測したほか、浜中町で震度１を観測しました。

この活動図は、釧路地方気象台のホームページに掲載しています。
https://www.data.jma.go.jp/kushiro/bosai/earthquake/earthquake_data.html

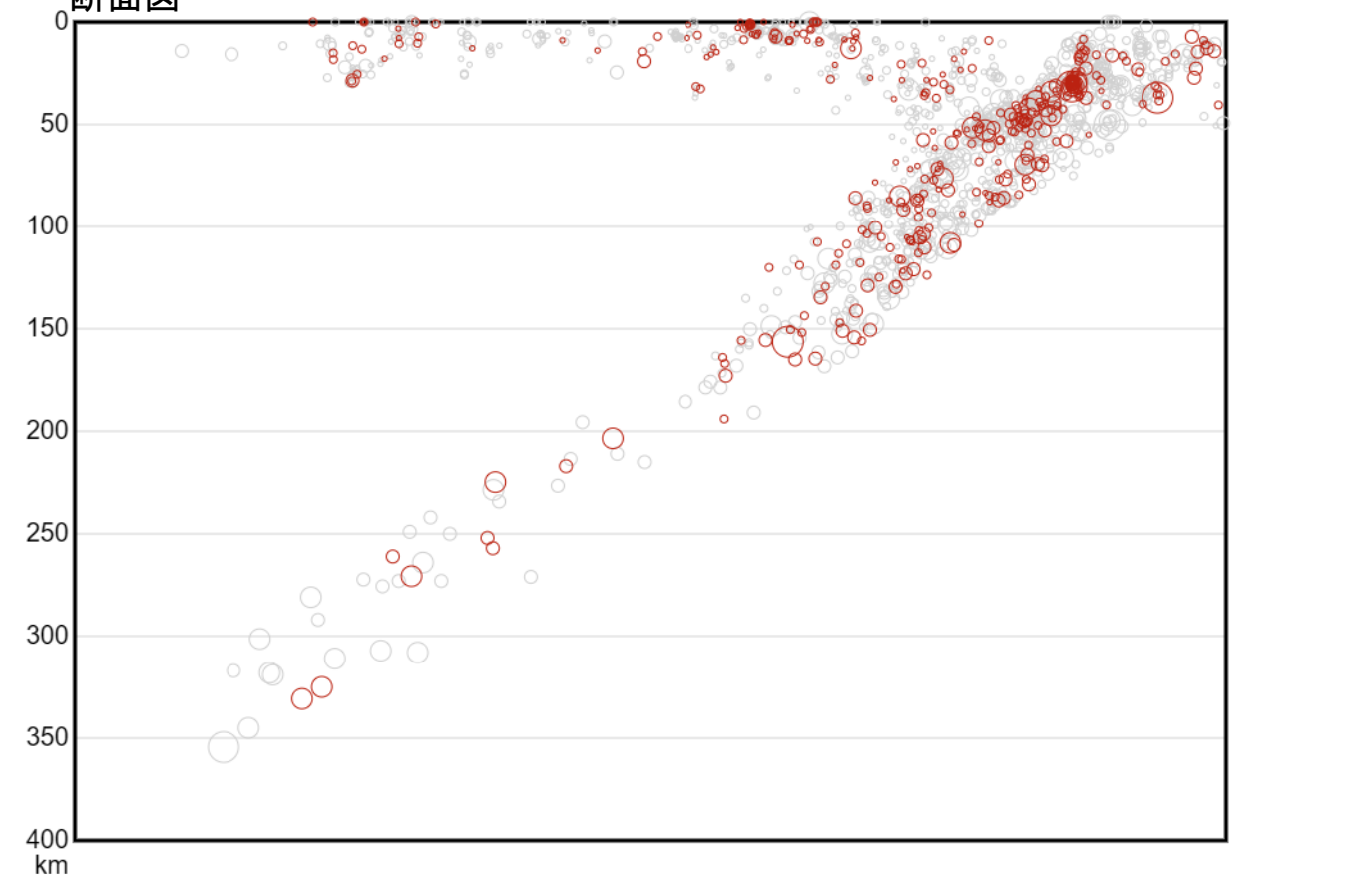
この資料に関する問い合わせ先　釧路地方気象台　TEL　0154-31-5146

2025年2月

震央分布図



断面図

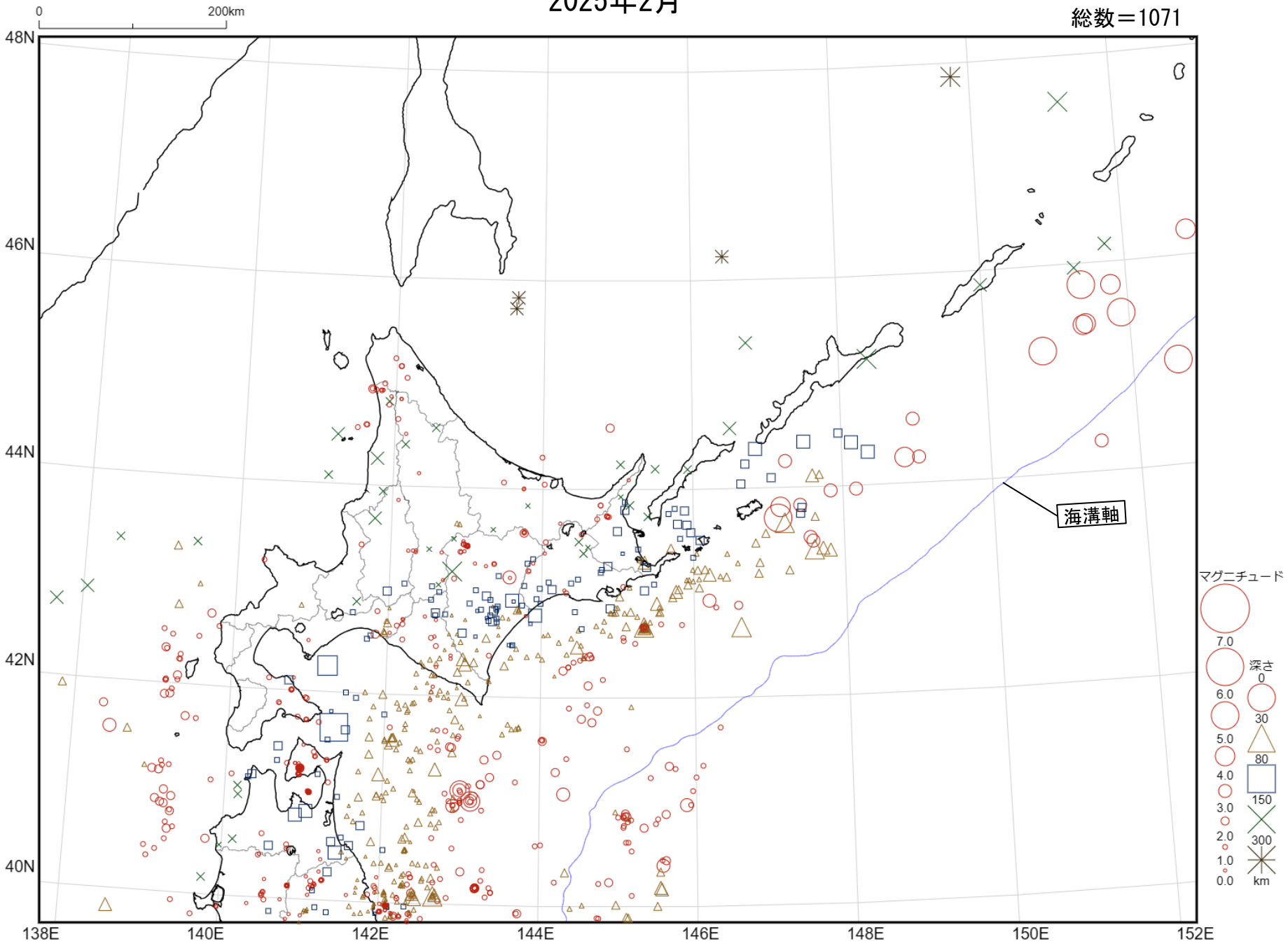


北海道の地震活動図

震央分布図

2025年2月

総数＝1071



釧路・根室・十勝地方で震度１以上を観測した地震の表（2025年2月）

	年　月　日　時　分　震央地名　北緯（N）　東経（E）　深さ（ｋｍ）　規模（M） 地方　震度　震度観測点名
1	2025年 2月 7日　12時36分　十勝地方北部　43° 11.8′ N　142° 49.1′ E　156ｋｍ　M4.8 十勝地方　震度１　新得町２条＊(07)　帯広市東４条(05)　帯広市東６条＊(09)　十勝清水町南４条(08) 幕別町忠類錦町＊(10)　豊頃町茂岩本町＊(13)　本別町北２丁目(06) 中札内村東２条＊(08)　更別村更別＊(09)　十勝大樹町東本通＊(13)　広尾町白樺通(10) 釧路地方　震度１　釧路市音別町中園＊(13)　白糠町西１条＊(07)
2	2025年 2月 9日　15時55分　根室地方南部　43° 18.0′ N　145° 21.1′ E　76ｋｍ　M3.6 釧路地方　震度１　標茶町塘路＊(05) 根室地方　震度１　標津町北２条＊(14)　別海町常盤(12)　別海町西春別＊(07)　別海町本別海＊(13) 根室市牧の内＊(07)　根室市厚床＊(10)　根室市琵瑶瑁＊(09)
3	2025年 2月10日　23時16分　苫小牧沖　41° 39.7′ N　141° 21.2′ E　90ｋｍ　M5.0 十勝地方　震度１　帯広市東４条(06)　帯広市東６条＊(06)
4	2025年 2月11日　10時25分　釧路沖　42° 40.8′ N　145° 20.4′ E　31ｋｍ　M4.4 根室地方　震度２　標津町北２条＊(15)　根室市厚床＊(19)　根室市落石東＊(17)　根室市琵瑶瑁＊(15) 震度１　別海町常盤(10)　別海町本別海＊(10)　根室市牧の内＊(10) 釧路地方　震度１　厚岸町尾幌(10)　厚岸町真栄＊(06)　浜中町湯沸(09)　浜中町茶内＊(13) 標茶町塘路＊(06)
5	2025年 2月17日　14時20分　十勝地方中部　43° 09.1′ N　143° 34.3′ E　13ｋｍ　M3.3 十勝地方　震度１　足寄町南１条＊(06)　本別町北２丁目(14)
6	2025年 2月18日　09時38分　北海道東方沖　43° 42.7′ N　147° 07.6′ E　3ｋｍ　M5.1 根室地方　震度１　標津町北２条＊(05)　別海町常盤(05)　根室市落石東＊(14)　根室市琵瑶瑁＊(10)
7	2025年 2月25日　01時30分　苫小牧沖　42° 15.1′ N　141° 14.2′ E　107ｋｍ　M4.3 釧路地方　震度１　白糠町西１条＊(05)
8	2025年 2月25日　15時00分　釧路沖　42° 54.3′ N　145° 30.6′ E　38ｋｍ　M3.8 根室地方　震度２　根室市琵瑶瑁＊(15) 震度１　根室市牧の内＊(07)　根室市厚床＊(12)　根室市落石東＊(13) 釧路地方　震度１　浜中町湯沸(06)
9	2025年 2月26日　07時22分　日高地方東部　42° 21.4′ N　142° 59.1′ E　51ｋｍ　M3.6 十勝地方　震度１　幕別町忠類錦町＊(10)　広尾町白樺通(07)

＊のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。
（　）内の数値は0.1単位の詳細な震度（計測震度）の小数点を省略して表しています。

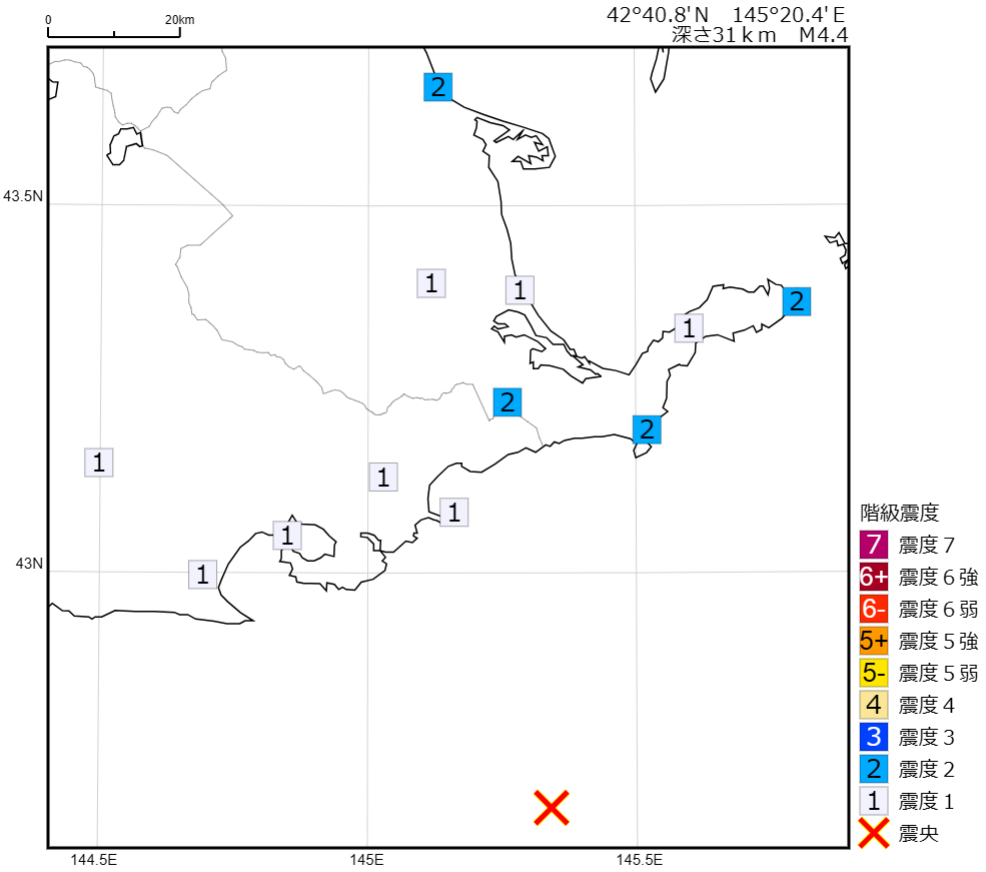
計測震度と震度階級の関係

計測震度	～0.4	0.5～1.4	1.5～2.4	2.5～3.4	3.5～4.4	4.5～4.9	5.0～5.4	5.5～5.9	6.0～6.4	6.5～
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

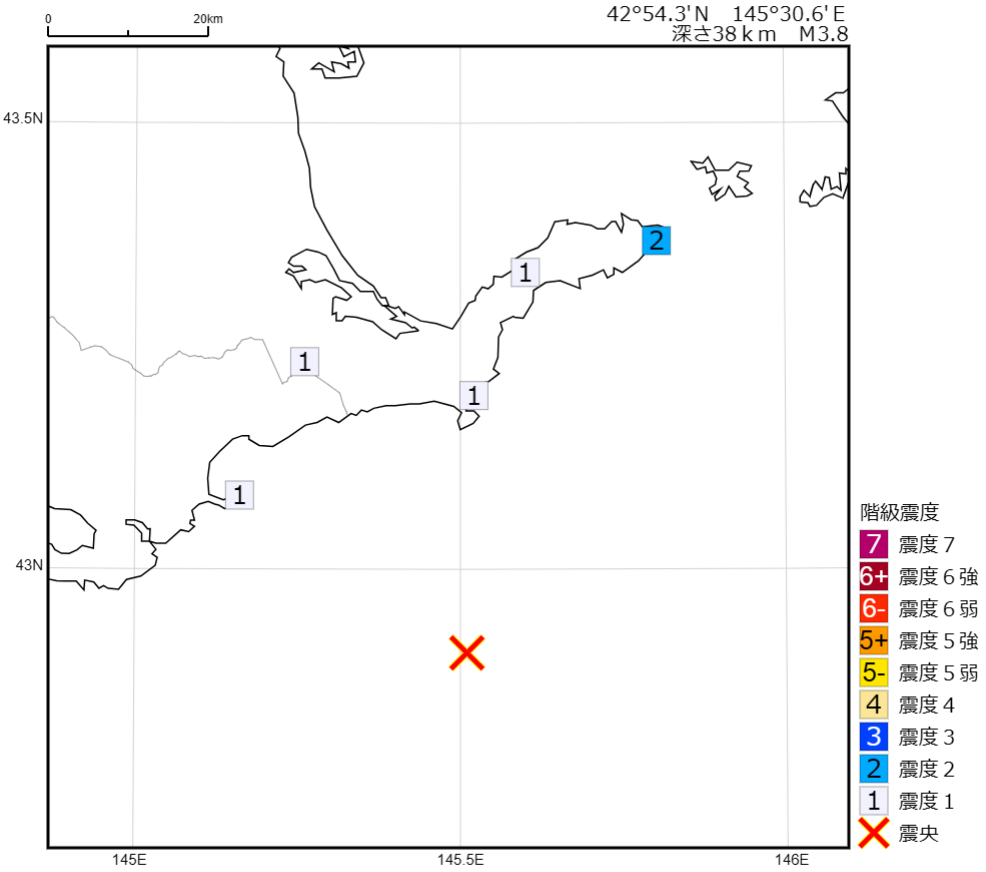
本資料の利用にあたって

・本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
・図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
・過去の地震と比較するため、前３ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
・本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

2025年 2月11日　10時25分　釧路沖の地震の震度分布図



2025年 2月25日　15時00分　釧路沖の地震の震度分布図



【防災メモ】
～遠地地震・火山噴火等による津波～

●遠地地震に関する情報と津波警報等の発表

国外で発生した地震を「遠地地震」といい、この遠地地震に伴う津波を「遠地津波」と呼んでいます。

気象庁では、国外でマグニチュード7.0以上の地震が発生した場合や、都市部など著しい被害が発生する可能性のある地域で規模の大きな地震を観測した場合などに、地震の発生から30分程度をめどに「遠地地震に関する情報」として、地震の発生時刻、発生場所（震源）およびその規模（マグニチュード）、日本や国外への津波の影響や観測状況について発表しています。津波の影響や観測状況に関しては、新たなデータに基づいて、随時情報を更新します（図１）。遠地津波については、日本沿岸での高さを予想し、被害のおそれがある場合、津波が到達する概ね２時間前までに津波警報等を発表します。

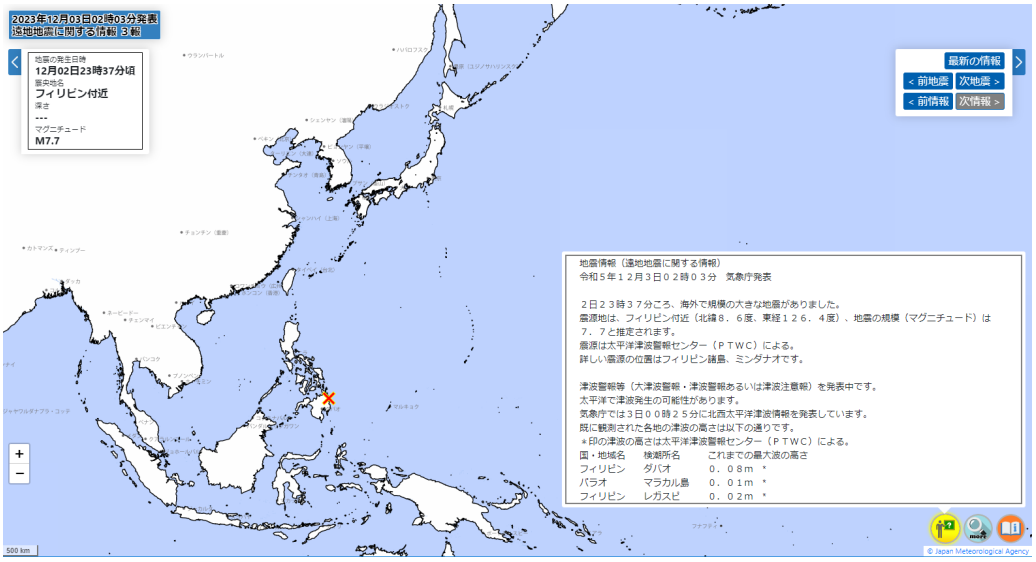


図１　遠地地震に関する情報の例（気象庁 HP）

●火山噴火等による津波

津波は地震に伴い発生することが多いですが、火山噴火や山体崩壊等の火山現象が要因で発生することもあります。令和４年１月には、南太平洋トンガ諸島での大規模火山噴火に伴い発生した気圧波により、日本で１ｍ以上の津波を観測しました。また、北海道では、過去に渡島大島や北海道駒ケ岳の山体崩壊に伴った津波による大きな被害が発生した記録があります。

この火山噴火等による津波も、津波警報・注意報を用いて注意・警戒を呼びかけます（図２、図３）。国外の大規模火山噴火等により津波発生の可能性がある場合は、噴火発生から１時間半～２時間程度で遠地地震に関する情報を発表してお知らせします。

ただし、津波の原因となる火山現象等を覚知できないこともあります。覚知できたとしてもこれらの津波は規模の予想が極めて困難なため、津波警報等は、原則として国内沿岸に到達した津波の観測状況に基づき発表することになります。また、その内容は随時切替えることがありますので、十分な留意が必要です。

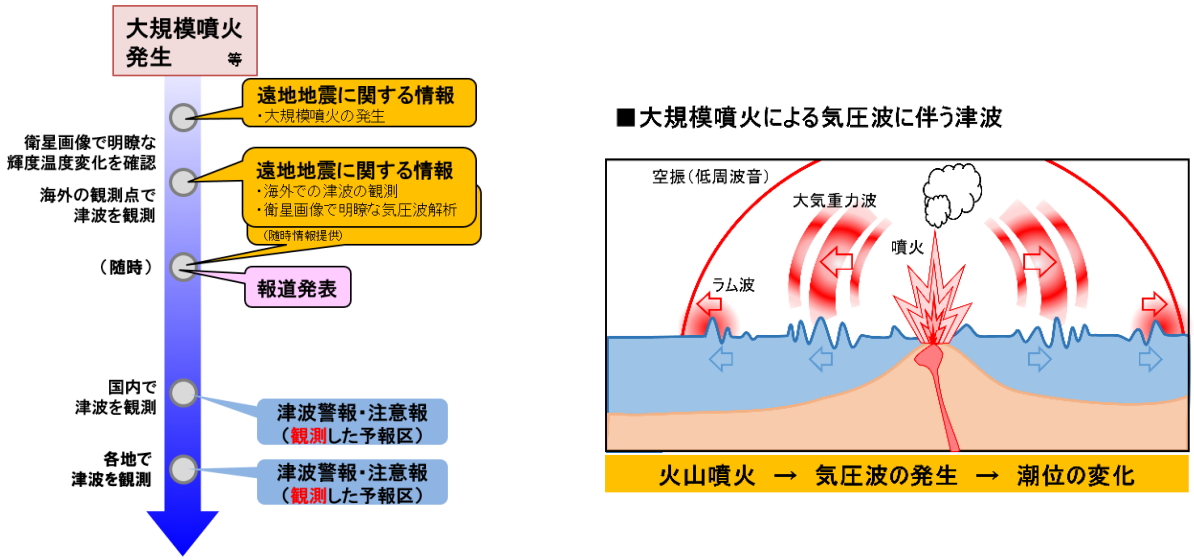


図２　海外の火山噴火に伴う気圧波による津波の情報発表の流れ

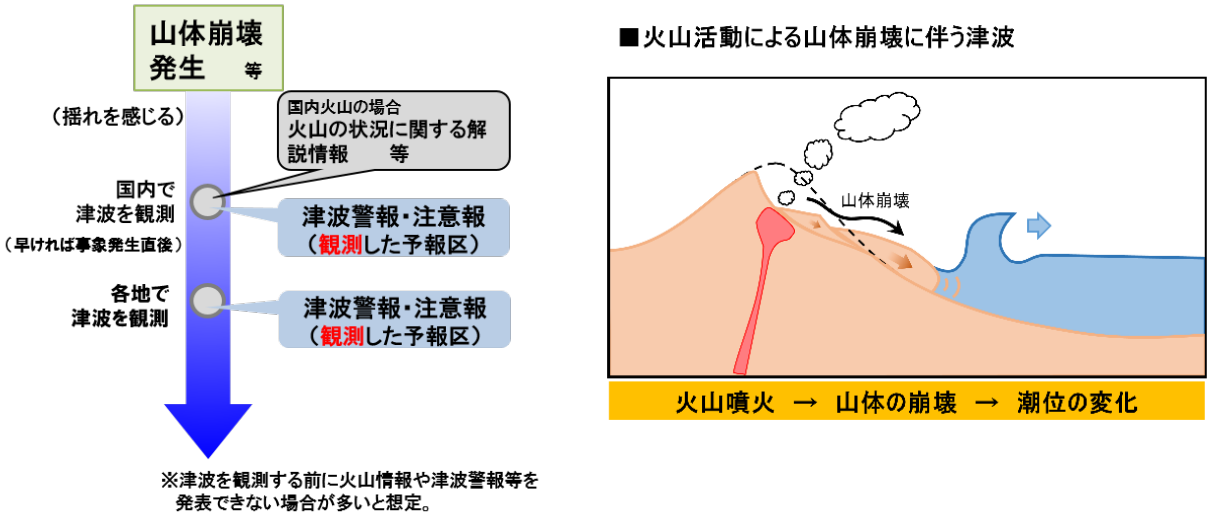


図３　火山活動による山体崩壊に伴う津波の情報発表の流れ

●津波警報等が発表された際の避難行動

遠地地震や火山噴火等で発生する津波の場合でも、津波警報等が発表された際に取るべき行動は、日本付近で発生した地震による津波と変わりません。遠く離れた国外で発生した地震や噴火では国内で揺れを感じることはありませんが、決して油断せず、津波警報等が発表されたら危険な場所から避難し、警報等が解除されるまで避難行動をとり続けてください。

遠地津波は到達するまでに時間的猶予があるため、各人が適切な避難行動をとれば必ず人的被害を抑えることができます。遠地地震や火山噴火等による津波に対して正しい知識を持ち、もしもの時に落ち着いて行動できるよう備えておきましょう。